

第72回 公開講座

Musashi Univ.

2021年 9月25日(土)・10月2日(土)・9日(土)・30日(土)

会場●本学1号館1階 1101教室およびオンライン(Zoom)

時間●13:30~15:30

定員●先着250名

🚶 来場型 & 🖥️ オンライン型(Zoom)のハイブリッド型

パンデミックと現代社会

第1回

9月25日(土)

コロナ禍におけるコーポレート・ガバナンス —バーチャル型の株主総会のゆくえ—

講師 水島 治(本学経済学部教授)

第2回

10月2日(土)

コロナ禍で仕事と家族は どう変わったか?

講師 筒井 淳也(立命館大学産業社会学部教授)

第3回

10月9日(土)

移民とパンデミック

—在日外国人が乗り越えた“壁”とは—

講師 アンジェロ・イシ(本学社会学部教授)

第4回

10月30日(土)

コロナ禍のアメリカでおこる 社会運動の「かたち」

講師 小森 真樹(本学人文学部准教授)

【受付期間】 2021年8月6日(金)~9月6日(月)

【受講料】 2,000円(一般)

(全4回) 500円(武蔵大学在学学生父母、武蔵学園卒業生)
無料(高校生、在学生*、後援会会員)

【支払方法】 来場で受講される方は、受講初回到会場の受付にて現金でお支払いください。
オンラインで受講される方は、申込の後、事前に銀行振込でお支払いいただきます。
(詳細は申込後にご案内いたします。なお、振込手数料はご負担ください。)

*在学生とは、武蔵大学の学生、大学院生、科目等履修生、研究生、練馬区特別履修生を指します。

【申込方法】 裏面をご覧ください。

※本講座は来場とオンライン(Zoom)のハイブリッド型講座です。
Zoomでの受講に係る技術的なサポートはございませんので、
ご了承の上お申込みください。



MUSASHI
UNIVERSITY

武蔵大学

許可なく転載することを禁止します。

経済学部

人文学部

社会学部

国際教養学部
(2022年4月新設)

9/25(土)

コロナ禍におけるコーポレート・ガバナンス——バーチャル型の株主総会のゆくえ—— 講師：水島 治（みずしま おさむ） 本学経済学部教授

一橋大学大学院法学研究科博士後期課程修了。博士(法学)。桐蔭横浜大学法学部、立命館大学法学部を経て、現職。専門は会社法。

令和3年の産業競争力強化法改正によって、バーチャル型の株主総会の開催が特例的に可能となった。今回の講座では、上記株主総会について、その制度概要や課題を概説する。

10/2(土)

コロナ禍で仕事と家族はどう変わったか？

講師：筒井 淳也（つつい じゅんや） 立命館大学産業社会学部教授

立命館大学産業社会学部教授。専門は家族社会学、計量社会学、女性労働研究。1970年福岡県生まれ。一橋大学社会学部、同大学院社会学研究科、博士(社会学)。著書に『仕事と家族』(中公新書、2015年)、『社会を知るためには』(ちくまプリマー新書、2020年)など。

2020年からの新型コロナ感染拡大で、私たちの働き方や家族はどう変わったのか、あるいは変わらなかったのか。「コロナ後」も残る影響にはどんなものがあるのか。蓄積されてきた信頼できる調査データをもとに、働き方や家族の動向や、「論点・注目点」の変化について考えていきます。

10/9(土)

移民とパンデミック——在日外国人が乗り越えた“壁”とは——

講師：アンジェロ・イシ（Angelo Ishi） 本学社会学部教授

サンパウロ生まれの日系ブラジル人3世、自称「在日ブラジル人1世」。サンパウロ大学ジャーナリズム学科卒。90年に日本に国費留学、新潟大学大学院および東京大学大学院を経て、2004年より本学専任講師、2011年より現職。専門は国際社会学、移民研究、メディア社会学。公益財団法人海外日系人協会常務理事、日本移民学会理事。総務省「多文化共生の推進に関する研究会」構成員等を歴任。

コロナ危機は世界各国の“移民”や日本に住む“外国人”に様々な試練をもたらした。国境の壁で引き裂かれた家族もいれば、日本語の情報が理解できず、困った人もいる。永住者の再入国が禁止されたことは国際社会に衝撃を与えた。移民たちはどんな壁を乗り越えてきたか。法務省の調査データなどを手がかりに考える。また、コロナ禍における東京五輪での海外からの来訪者の受け入れ方を総括する。

10/30(土)

コロナ禍のアメリカでおこる社会運動の「かたち」

講師：小森 真樹（こもり まさき） 本学人文学部准教授

岡山県岡山市出身。東京大学総合文化研究科で博士号を取得。テンブル大学歴史研究科研究員、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所ジュニアフェロー、武蔵大学専任講師を経て現職。専門はアメリカ文化研究、ミュージアム研究。アートプロジェクトの企画運営にも携わる。ウェブサイト: <https://researchmap.jp/masakikomori> Twitter: @phoiming ブログ: <https://phoiming.hatenadiary.org/>

コロナ禍のアメリカでは社会の格差や分断が露呈し、それに対して人々は様々に声を上げてきました。本講義では、白人警官による黒人男性殺害事件を契機に世界へと広がったブラック・ライヴズ・マター運動、公空間での記念碑建設や映画・ドラマの表象で起こる歴史の記憶をめぐる闘争、活発化したオンラインでの抗議行動など、コロナ禍のアメリカにおける社会運動について、その様々な「かたち」に着目して解説します。

お申し込み・受講に関するご案内

PC専用申し込みサイトより
お申し込み

▼
<https://web.634.co.jp>

FAX、メール、郵送によりお申し込み

▼
下記の①～⑧を明記の上、申し込み先まで送信(郵送)してください。
①第72回公開講座「パンデミックと現代社会」 ②受講方法(来場 or Zoom)
③氏名(フリガナ) ④郵便番号・住所 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス
⑦FAX番号(ある方)
⑧申込区分(一般、本学在学学生父母、本学園卒業生、本学園後援会会員、
本学在学学生、高校生) ※本学在学学生とは、武蔵大学の学生、大学院生、
科目等履修生、研究生、練馬区特別履修生を指します。

●個人情報の取り扱いについて
武蔵大学公開講座受講者の個人情報は、本学の個人情報保護方針に従って厳重に管理し、武蔵大学公開講座の運営並びに本学からの各種講座のお知らせ及び統計的集計を行う目的以外に使用することはありません。各種講座の案内送付は、当該業務の委託を受けた業者(以下「委託業者」という。)において行います。武蔵大学公開講座受講者の個人情報は本学が明示する用途のみに使用し、委託業者にはその委託業務を越えた利用はありません。また、委託業者に対しては、個人情報が、漏洩・流出することのないよう厳重な管理を義務づけます。今後、本学からの各種講座の案内を希望されない場合は、お手数ですが、武蔵大学 大学庶務課(03-5984-3713)までご連絡ください。

●注意事項

(ア) 本講座は来場とオンライン(Zoom)のハイブリッド型講座です。Zoomでの受講に係る技術的なサポートはございませんので、ご了承の上お申し込みください。

(イ) いったん納入された受講料は原則お返しできません。

(ウ) やむを得ない事情により、講師の変更、講義を延期または中止もしくは全面オンラインに変更することがあります。

(エ) 緊急(休講等)の連絡をすることがありますので、申し込み後、住所、電話番号、メールアドレス等の変更があった場合には、速やかにご連絡ください。

(オ) 本学には駐車スペースがありませんので、お車・バイク等でのご来場はご遠慮ください。

※本学在学学生、高校生の方は、来場で受講される場合は当日学生証または生徒証をお持ちください。

※お申し込み時点で定員に達している場合は、こちらからご連絡いたします。

※携帯電話でメールを送る場合、ドメイン指定受信をしている方は、申し込み先アドレスを受信するドメインに設定してください。

来場受講の方は、お申込後、「受付票」を9月9日頃発送いたしますので、当日お持ちください。

Zoom受講の方は、お申込後にご案内する所定の手続きをお願いいたします。手続き終了後に電子メールで受講に必要な情報をお送りします。

お問い合わせ
お申し込み先

(株)武蔵エンタープライズ (講座当日は会場対応のため閉室しております)

〒176-8533 東京都練馬区豊玉上1-26-1 (武蔵大学内) TEL : 03-5984-3785

FAX : 03-5984-3787 E-mail : kouza@musashi.ac.jp URL <https://web.634.co.jp>

ハイブリッド型
受講に係る
お問い合わせ
せはこちら

武蔵大学 大学庶務課 (講座当日は会場対応のため閉室しております)

E-mail : kouza2021@sec.musashi.ac.jp



MUSASHI
UNIVERSITY